

549

206

輯六第 書叢傳宣合組業産

# 動運合組業産の本日

22



1927-11

會 央 中 合 組 業 産



\* 0026263000 \*



0026263-000

549-206

産業組合宣伝叢書

産業組合中央会

第6輯

昭和2

ADF

この著作物は、著作権者不明のため、著作権  
第67条の規定に基づき、平成12年5月1  
付けで文化庁長官の裁定を受け使用するもの



例言

本篇は平易簡明を旨として日本の産業組合運動の由來、特質、事業、及將來を紹介したもので組合宣傳用として好適と信ぜられるので土様した次第である。尚本篇は本會主事補辻誠氏の執筆にかゝるものである。

昭和二年十一月

産業組合中央會

り  
含  
寄贈本





間にまんまと漁夫の利を占めました。大正四年から大正七年の間は輸出超過で十四億圓、運賃、保険料其の他で十四億圓、合計二十八億圓が機に飛び込んで、一躍成金國になり、すばらしい好景氣になりました。そうして大規模な商工業は益々發達し、富限者の富は彌が上にも太る、日本が今日までこれだけに國民的飛躍を遂げた時はありませんでした。大戦後は列強がすべて痛手を受けて足腰も立たなくなつた爲に、日本は一躍世界の三大勢力となり、英米に次ぐ地位に上りました。

實際日本の國は成人したものです。國內到る處には數千人、數萬人を使用する工場があり、それからの製造品には先進國と見劣りしないものも多數あります。數億の金を擁する銀行も二、三に止らず、國中に金融の網を張つて、日本の産業に新鮮な血を供給して居ます。學術の進歩は死者を救い、藝術の發達は日常の生活を豊富にして居ます。かうした壯大な發展振を見るにつけ日本人であることを誇りたい氣持になります。僅か五、六十年の間に此處まで来た自分等の力を不思議に思ふと共に此うした力を傳へて呉れた祖先の人や、明治大正の間に全力を擧げて國力の充實に努めた人々に感謝しないでは居られません。そして過去の人々に感謝すると共に、昭和新政の下に働く今日の日本人は此の受け傳へた莫大な財産を持ちこたへ、これを益々増大して、更に

これを次の時代の人々に引渡さねばならないと云ふ重大な責任を感じます。

昭和の日本人はこれから大に働かねばなりません、併し働くに當つてはある方針を定めねばなりません。其處で今一應日本の現代を觀察して見やうと思ひます。かうした日本の發展振を稱讚する見方を暫く置き、新しい眼で現代を見ると此の見方には重大な見落しのあるのに驚かされます。大きなもの許りに目をつけて更に大きなものを忘れて居るのです。丁度奈良大佛の手には何人登れるとか、鼻の穴を傘をさして通れるとか、一小部分の大きいのを見て来て、全體がこれ位大きいか見て來なかつた様なものです。成程、日本の國富は充實したでせう、各種の機關は整備したでせう、文化は發達したでせう。ですが、此れから利益を受けるもの、此れを利用することの出来るもの、此の恩澤に與り得る者は一體誰でせう。如何にかうした發達はしても之に關係がないでは何にもなりません。國民の全部がこの恩澤に與れるとするなら何にも云ふことはありません。處が事實は反對です。今日の日本では大資産家だけがあらゆる利益を受けてゐるのであつて、中産以下の人々は苦しい苦しい生活を續けて居ます。都市の中小商工業者、地方の農民、漁夫、此の人々は維新前には武士階級から壓迫されてはゐたでせうが、生活の方は却つて今より安定して居て、樂だつたのです。亦銀行會社が發達するに連れて俸給生活者や、勞働者と云ふ階級

が生れて来ました。日用品は日に高くなる、家賃は年々上つてゆくのを受ける賃銀や給料はそれに伴はない、文化の恩澤に與る所ではない、其の日の日の衣食住にさへ困つて居ます。かうした人々を合すれば國民の大多数の人々が苦しんで居る譯になります。外觀の目ほしいもの許り眼をつけて居る人々はかうした大きなものを忘れて居ます。

もう多言を費さないでも、今日の日本人は如何すればよいか解りませう。今日受け傳へた日本の國力を持ち續け、これを發展させて行くと共に、日常の生活に苦勞して居る國民大多數の人々に其の利益を受けさせ、夫の恩澤に浴せしむる様にせねばならないのです。その必要は誰でも認めませう。さうすれば、次には夫れを實現する手段方法を考へる段取になります。それには種々の事が已に考へられもし、實行もされ、居ます。慈善事業と云ふ恩惠的な所から、労働組合、農民組合と云ふ團體運動、社會主義、共産主義、無政府主義と云ふ急進的なものもあります。ですが、これからお話しする産業組合運動は最も實際的な、健全な、包容力のあるものであると考へます。

## 二、産業組合運動は如何して生れたか

前に述べた日本の状態はこれを資本主義經濟の時代と申します。此の時代には資本が最も強大な力を現はし、大資産家は榮え、都市は發展し、農村は疲弊し、中産以下の人々は凡て不利益な地位に立つのです。産業組合運動は中産以下の人々が此の自分の不利益な境遇を自覺して、團結の力に依つて、其の地位を向上して行かうとするものなのです。

資本主義經濟組織は、決して日本許りで強大な力を示して居るものではありません。今日の世界の經濟全體が資本主義に依つて動いて居るのです。ですから何處の國でも中産以下の人々は皆苦しい生活をして居ますし、その地位を改善する産業組合運動は何れの國にも起つて居ます。では何處で一番始めに此の運動が起つたのでせうか。産業組合運動は資本主義制度の産物なのです。から、資本主義が一番始めに強大になつた國であることが想像されます。そして事實も資本主義の發祥地である英國に産業組合運動が始めて起りました。

英國のマンチエスター市と云へば、工業の中心地だと云ふことを誰れしも知つて居ます。其處から僅か許り離れたロチデールと云ふ町の貧しい二十八人のフランネル職工が生活に困つて、一八四四年（弘化元年）に日用品の共同購入をする組合を創りました。此の組合の定めた諸種の原期が非常に重要なものであつて、後々の各種類の産業組合に影響を及ぼして居りますので、これを

産業組合の元祖として居ます。それから佛蘭西にはフィリップ・ブツシエと云ふ人の唱導の下に  
 巴里の指物師が一八三一年（天保二年）共同で工場を設けましたが、これを生産組合の元祖とし  
 てゐます。それから信用組合には二つの流がありまして、共に獨逸に其の源を有して居ます。  
 一つは都會の商工業者の信用組合で、ヘルマン・シユルツエ・デーリツチ氏が一八五〇年（嘉永  
 三年）に自分の生れた町のデーリツチに設けたのです。もう一つは農民の信用組合であつて、フ  
 リードリツヒ・ライフアイゼン氏が一八六二年（文久二年）アンハウゼンと云ふ村に氏獨特の信  
 用組合を始めたのです。此の二種の信用組合は各々特有の性質があつて、後年世界各国にこれに  
 模倣して信用組合が作られて行きました場合にも國々の事情で少し宛は變形されては居ますが、  
 此の二つの流れは明瞭に別たれて居ます。

それでは日本に産業組合運動が起りましたのは何時のことでしたらうか。それは明治二十四年  
 です。尤も中産以下の人等が互に助けあつて、自分等の産業や家事の經濟を樂にしやうとする團  
 體はそれ以前からありました。室町時代から無盡（頼母子）と云ふものがあつて、講と云ふ團體  
 を作つて金融の便を得て居ます。また二官尊徳翁の教義に基いて、天保十四年（一八四三年）に  
 小田原報徳社と云ふ團體が出来て明治の初年頃には已に相當各地に分布し、今日では千に近い報

徳社があります。これは道徳を中心にした經濟團體で、殊に社員に金融の便を與へる方法等は外  
 國の信用組合と比べて遜色のない巧妙なものでした。更に明治十年代には群馬縣には確水社、甘  
 樂社と云ふ養蠶家の團體が起り、自家で繰つた生糸を共同に處理して、販賣する事業を行ひ、靜  
 岡縣には農家が自家で製造した綠茶を共同販賣する組合が起つて居ました。中産以下の人々は實  
 際困つて、此した共同の仕事をする利益を覺つて居たのです。併し此の種の團體は今日の産業組  
 合が持つてゐる原理原則に依つて支配されては居ませんでした。今日の制度は上述の團體の特色  
 と外國の制度とを加味して出来上つたもので、其の最初の試みが明治二十四年に行はれたのです  
 ある新しい前度が生れますには、必ず先覺者があつて非常は努力をするものですが、産業組合  
 運動にも子爵品川彌二郎、伯爵平田東助兩氏と云ふ二人の先覺者がありました。勿論著書等で外  
 國の産業組合運動を紹介した人は他にもありましたが、此の運動を日本に種蒔し、これを發育、  
 助長せしめたのは二人の方なのです。二人の方は明治の初年外國に留學せられ、外國の資本主義  
 の發達と其の缺陷とを見られ、日本も必ず資本主義發達の段階を進むと共に、中産以下の人人は  
 困難な状態に陥ることを覺られました。其の救済策たる外國の産業組合を研究されたのです。歸  
 朝後は政府の要路に就かれて、産業組合運動を起す機會を待つて居られたのでした。

明治二十年代になりますと日本は中産以下の人々の困難な生活が強く現はれ出しました。都市の中小商工業者は大資本の商店、工場に壓倒されて、日に日に事業は覆食されて行く、農民は自給自足の経済から營利経済に入りましたが、商事知識に缺けてゐるので、経営は甘くゆかず、生活は左前になつて、僅かに持つてゐた土地も資産家に吸収されて行く様になりました。此の有様を見て品川、平田の兩氏は産業組合制度の實施に決意され品川氏は内務大臣になられ、平田氏は法制局長の地位にあられた明治二十四年の議會に信用組合法案を提出しました。ですが議會解散の爲實現出來ず、翌二十五年から實際の組合運動を起すことに努められました。其の勧誘に依つて、其の年先づ静岡縣の掛川の信用組合が生れ、次いで見付の信用組合が出来ました。これが端緒となつて各地に信用組合が起つて來ました。一方農商務省では内外の産業組合運動の調査をして、法律制定の準備をしてゐましたが、遂に明治三十三年三月六日産業組合法公布の運びとなり、日本の産業組合制度が確立した譯です。

其後の政府の徹底的な援助と、民間有志の熱心な努力に依り全國に普及し、今日では組合數一萬五千、組合員數四百萬に近く、津々浦々産業組合を見ぬ所はない様になりました。此の大きな運動を起された品川、平田の兩氏は今は故人となつて居ます。日本の信用組合である報徳社が生れた天保十四年に誕生された品川子は明治三十三年産業組合法が議會を通過した數日後薨去せられ、其の遺業を嗣がれた平田伯は組合法發布二十五週年紀念の全國産業組合大會の前日薨去されました。併し兩氏の精神は今尙生きて組合運動を動かし、兩氏に激勵された人々は數知れずあつて各地で組合運動の發展に献身的な活動を續けてゐます。

### 三、産業組合は如何な性質を持つて居るか

人間には各々持前の性質があります様に、團體にも各々特有な性質があります。其の特有な性質で今日の世の中で働き、團體を作つて居る人の爲の利益を畫つて居ます。今日團體の種類は數知れずあります。ですが其の中で最も榮えてゐるのは何でしやうか。それは株式會社です。株式會社で今日の世界の經濟が動き、株式會社で現代の文明を作り出したと云ふても過言でないのです。實に株式會社は今日の人達の精神にまでも影響を及してゐます。株式會社は資本家の集りですが、金儲には誠に結構な、而も大資本家には誠に融通のきく仕組になつて居ます。産業組合は中産以下の人々の集りですが、株式會社と違ひまして、中産以下の人々には誠に結構な仕組になつて居ます。此の特有な仕組、此の性質に依つて、中産以下の人々が、今日ある諸種の機關では

出来ないことをやつて、お互の事業の有利に行く様に、家事経済が樂に行く様にして行く譯なのです。

では産業組合は如何な性質を持つた團體でせうか。

第一、産業組合は組合員を相手に事業を行ふこと。産業組合は金を貸すとか、物を共同に買入れるとか種々の事業を行ひます、その事業は組合員を相手にするのであつて、組合員外の人の爲には行ひません。此の點株式會社と違います。株式會社の事業は一般を相手にするので、株主相手ではないのです。株式會社が事業を行ふのは金儲の爲です。利潤を得る爲です。出来るだけお客を搾るのが原則です。産業組合は組合員相手の仕事ですから、儲ける必要はないのであつて組合員の事業なり家事なりが樂にやつて行ければよいのです。尤も産業組合は例外として組合員外を相手に事業を行ひますが、それは特別の事情の下にするのであつて、弊害のない程度に行ふのです。決して此の原則が破れてゐるのではありません。

第二、出資に對する配當に制限があること。産業組合の組合員は必ず組合の事業を行ふ資金として或る額の金を出資しなければなりません。此れに對しては年末決算の時剰餘金(純益)が出ますと配當をすることが出来ます。併しそれには制限があるのです。拂込濟出資に對して普通

六分以下、特別の事情がある場合には一割迄と云ふことになつて居ます。これは利子と云ふ意味で與へるので、日本は金利の高い國ですから割合に此の配當率が高くしてありますが、金利が低い國ならもつと低い譯です。株式會社は無制限に配當してゐます。十割二十割と云ふ高率な配當が好景氣の時に現はれます。かうした事が段々と貧富の懸隔を甚しくして行く譯です。産業組合は資本に對する配當を制限して此うした弊害を除いてゐます。

第三、組合の利用者に特別配當を行ふこと。前述へた様に資本に對する配當を制限して居ますが、産業組合には特別の配當方法があります。これが特別配當なのです。組合に利益が出ますのは組合員が組合から金を借りるとか、物を買ふとかして組合を利用したことによるのです。組合を利用しない人から利益は出て來ません。ですから組合の利益の配當は、利用しない人に對しては制限された出資に對する配當で充分です。それ以上與へるのは穩當ではありません。組合を利用した人には、物を買つた場合なら、年内の購買高に比例して利益を分配します。つまり割戻しと云ふことになります。株式會社でしたらお客に賣り附けて儲けたら全部株主に配當してしまふ。かうした事は組合主義から見ますと社會的正義に反した事に思はれます。今日の大規模な商工業は大部分株式會社で經營されて居ますが、これが産業組合で經營されることになりますれば



かうした不當な利得は此の世の中から消滅してしまはせう。國民の大多數を占める中産以下の人々が眞に團結して、後に述べます販賣組合や購買組合を組織すれば、現在の大規模な商工業の大部分が中産以下の人の手に移り、資本家が莫大な利潤を得る時代がなくなるのです。

第四、産業組合は公開的の團體であること。産業組合は公益法人ではありませんが、頗る公益的な性質を帯びて居ます。ですから此の中産以下の人々に誠に結構な制度を少数の人で獨專することは出来ません。出来るだけ廣く、出来るだけ多くの人を包容せねばなりません。従つて、組合員數を制限することは出来ないのです。其の結果出資の總額は限定されません。株式會社の方は資本金が一定して居まして、利益の多い株式には拂込額以上の價格が出ますが、組合は公開的で誰れでも自由に加入が出来るのと、持分の譲渡に制限があるので、組合員の持分に對して時價は出て來ません。

第五、組合員の議決権は平等であること。これは一人一票主義と云ふもので、三十口の出資を持つてゐる組合員であらうと、一口を持つてゐる組合員であらうと、其の意見の輕重はないので、同一に一票の投票權しかないのです。中産以下の人々に最も應はしい民衆的な議決方法であります。これが株式會社になりますと、議決権は株式の數に應ずるので、大株主の自由に

議決出来るのであつて、大資本家に最も結構な仕組です。産業組合は資本が強大な力を出す事を制限して各人の意思を十分に尊重して居ます。産業組合は人的要素を重じ、株式會社は物的要素を重じるのです。

第六、組合員の出資額に制限のあること。組合員は必ず一口の出資をせねばなりません。併し一組合員は三十口以上を出資することは出来ません。特別の事情があれば五十口まで特てますが、それ以上は絶対に出来ません。それと同時に一口の金額も五十圓以下に限定されて居ます。この制限は如何に組合員の議決權が平等であつても、無制限に出資せしめると、今日の世の中では何うしても大資本家が驟然と勢力を持つて了ひます。亦此の出資者が脱退すると共に組合の存立も不可能になることとなります。それでかうした弊害の起らない様に一組合員の出資額の制限をしてゐます。

産業組合はかうした諸種の性質の外にまだ任意主義の團體であると云ふ性質を持つて居ます。各人の自由意思を尊重して加入脱退は自由であるのです。此の種々の原則を見ますと産業組合は如何に中産以下の人々の爲に結構な仕組であると云ふことを覺りますと共に、各人の人間性を充分に尊重し、社會的正義に基礎を置いた團體であることを知ります。今日の世の中は物質精神共に

株式會社の營利主義、資本萬能主義、個人主義に導かれて居ますが、將來國民の大多數の者が産業組合の非營利主義、人格尊重主義、共同主義に導かれる時が来れば、必ずや世の中は平和に安樂になることだらうと考へられます、私等産業組合運動に關係してゐる者はその時の一日も早く來たらんことを祈つて居るのです。

#### 四、産業組合は如何な事業をするか

日本の産業組合は、産業組合法の規定に依つて設立されますので、其の事業の範圍も明瞭に組合法に示されてゐます。産業組合の行ふ事業は信用、販賣、購買、利用の四種類で、此の事業を行ふ組合を夫々信用組合、販賣組合、購買組合、利用組合と云ひます、産業組合は二つ以上の事業を営むことが出来たから信用購買組合とか、販賣購買利用組合とか四つを組み合はすと十五種の組合が出来ます。此の基本になります組合は僅かに四種類であります、其の應用の範圍や經濟的社會的意義は頗る廣く、深く、これを充分書きますれば立派な書籍になります、限られた紙數にこれを記すことは苦しいですが、兎に角簡單に記して行きます。

一、信用組合 中産以下の人々が商工業、農業等を経営して行く場合には資金が潤澤でなければならぬと思ひます。併し大小の銀行が數知れずありますが小規模の經營者は信用がないとし

て相手にして呉れません。其處で此等の人が集つて出資し合ふとか、餘裕の金を貯金するとかして資金を集めて、資金の必要な組合員に貸します。亦中産以下の人々は個人では信用がありませんが團體となると信用が出て、銀行から金を借入ることも出来ますから、それを組合員の間に融通もするのです。貸付を行いますにつけても組合員相手の事ですから、其の人の事業經營振なり性行なり、家庭の状況なりが良く解りますから、信用を與へるのに樂です、従て對人信用と云ふ人格を擔保にして貸すと云ふ財産のない人々には此上もない結構な貸付法も出来る譯です。貸付金の用途は産業資金を原則として居ますが、特に困つてゐる人には家計を立て直す爲の經濟資金も貸します。以上は貸付事業ですが、もう一つ貯金を預ると云ふ仕事があります、此れは組合の資金を充實すると云ふ意味もあり、亦組合員の勤儉貯蓄の美風を涵養する意味もあるので、特に中産以下の人に貯め易い様な方法を探つて居ます。貸付の方は組合員のみに限られて居ますが、貯金の方は組合員の貯金許りでなく、組合員の家族の貯金、團體の貯金を預かれることになつて居ます。信用組合の中に市街地信用組行と云ふのがあります。これは市又は主務大臣の指定した市街地にのみ許される信用組合で、普通の信用組合の事業の外に手形の割引をし、又一般市民の貯金を預ることになつて居ます。つまり都會の中小商工業者の爲の信用組合です。此の組合は普通の信

用組合と違つて販賣、購買、利用の事業は營めないことになつて居ます

二、販賣組合 今日の商品の取引の單位は非常に大きくなつて來ました。小規模な經營をやつてゐる人々の生産物は非常に少量であつて、今の世の中では販賣上非常に不利な立場に立たねばなりません。其處で小規模な經營者が多數ある國では、生産者と消費者との間には買集人、地方問屋、卸賣問屋、小賣商と云ふ多數の中間商人が出來て、途中で甘い汁を吸ふ、例令具の人達が公正な商賣をして居るにしても、今日品物が生産者から消費者に動く経路は餘りに複雑すぎるのです。そこで小規模な工業家なり農家よりが、團結して少ない生産物を集めて大量にして賣出すと云ふのが販賣組合なのです。而も單に品物を集める許りでなく、品質の統一改善と云ふことも行つて生産物の價値を増します。かうして販賣組合は直接生産者の利益となる團體であると共に、多數の中間商人が除かれることになり、途中で利せられない公正な値段で然も新鮮な、品質のよい物を需要者に供給出來ると云ふ社會的正義を實現する機關でもあります。販賣組合は組合員が生産したものを其儘販賣する許りではありません。組合に工場を設けて加工して販賣します。例へば養蠶家の販賣組合は組合員に繭を提供して組合の工場で繰糸して、生糸として販賣するのである。かうした事が進みますと今日個人や會社に依つて營利主義的に經營されてゐる商業

なり、工業なりは、小生産者の組合の手に移ることになり、その蠶食した領分だけは資本主義と全く異つた原理で導かれ、資本主義の勢力がそれだけ弱められた事になります。

三、購買組合 此れには二つの種類があります、原料購買組合と、消費組合とです。前者は事業を經營して居るものが其の必要な原料を共同購入するもの、後者は日用品の共同購入をするものです。少量の品物を買ふことは不利であることは販賣組合で、少量の品物を賣るのが損であるのと同じ理由です。小規模な生産者は個人で原料を買ふなれば、品質の悪い、値の高いものを買はされます。その點で已に大量購入の出來る大規模な生産者と對抗出來ません。それでは如何に其の生産なり、製造を巧妙にやつても引合ふ筈のものではありません。そこで小生産者が寄り合つて共同して購入するとすれば、其の仕人に於て大規模生産者と同等の地位に立つのです。かうした意味で原料購買組合が出來て行くのです。日用品を共同購買する消費組合も同じです、而も消費組合は俸給生活者なり、労働者なりが生活の改善、向上を計る爲の唯一の組合であるのです。

購買組合の事業は品物を買入れて分配するだけでは未だ充分でないので、組合は工場を設けて、組合員の必要な品物を製造せねばなりません。かうしたことは外國の産業組合が實際行ふて

居ることです。此處に注意しなければならぬのはこの購買組合の工業生産と資本主義の工業生産とは大いに意味が異なることです。今日の工業は一般の市場を目的として生産します。生産の動機となるのは儲かると云ふことです。儲かるとなると同じ品物を各人が造り出す、盲滅法に作るのです。従つてすぐ生産過剰となるのです。併し購買組合の工業生産は一定の組合員の爲に生産するのですから此うした事はありません。そして其の生産の動機は必要だからと云ふのにあります。資本主義の生産の方は如何に必要でも儲からねば生産しないのです。此の兩者を比較して見て御覽なさい。如何購買組合の原則の方が人情味があつてそして合理的だか解りませう。今日の大規模な工業を凡て購買組合で經營する時代が来ればよいと思ひます。大資本家の經營してゐる工業を貧乏人が經營する。何と云ふ夢想だと云ふ人がありませう。ですが失望する必要はないのです。今日の工業製品の大部分は中産以下の人達が消費してゐるのではないでせうか、中産以下の人々に移り、それと共に大規模な商店も大部分消え失せるでせう。購買組合の理想は遠大です。併し現在の仕事は地味です。一步一步、歩みは遅くとも確實な道をたぐるのです。

四、利用組合 利用組合は組合員産業及經濟に必要な設備を利用せしめるのであります。組

合に個人では使へない様な物や人を設備して置いて、共同に使ふのです。産業に必要なものと云へば機械、器具、動力、船舶、工場、土地、家畜、技術者等が含まれ、經濟に必要なものと云へば住宅、浴場、水道、病院、冠婚葬祭用具、電燈、看護婦、産婆醫者等が含まれるのです。此れに依つて小經營者は大經營者と對抗が出来ますし、消費經濟の方面から見れば深刻な住宅難が緩和され、諸種の文化的恩恵に容易に與り得ることになるのです。以上四種の組合は土地や職業の如何を問はず中産以下の人々に巧みに應用されて、その人々を今日の困難な生活から切り脱けさせ、安樂な生活へと導いてゐるのです。此の四種の組合は單位の組合でありまして、此の上に聯合會が出来て居まして單位の組合を援助して、其の完全な發達を畫らせてゐます。聯合會も四種類あります。

一、信用組合聯合會

産業組合及産業組合聯合會に金融の便を與へるものです。信用組合聯合會だけは加入出来ません。事業は會員に貯金の便宜を與へ、資金の融通をするのを主な仕事とします。

二、販賣組合聯合會

販賣事業を營む産業組合又は産業組合聯合會が加入します。會員の取扱ふ品物を販賣してやること、又これに加工して販賣することも出来ません。

### 三、購買組合聯合會

購買事業を營む産業組合及産業組合聯合會の聯合機關で、會員の爲に購買組合と同じ仕事をします。

### 四、利用組合聯合會

産業組合及産業組合聯合會であれば何でも加入出来ます。會員の爲に利用組合と同じ事業を行ふのです。

此等聯合會は各地に、一府縣區域、數府縣區域、一郡區域、數郡區域等で組織されて、相當成績の見る可ものもありません。聯合會は組合と同じように兼營が出来ます。聯合會の中で特に注目が必要があるのは大正十二年設立された全國購買組合聯合會と、昭和二年設立された大日本生糸販賣組合聯合會であります。一つは全國的な大量購買機關で、一つは長い歴史のある生糸販賣組合の全國的聯合機關だからです。

尙産業組合全體の金融を調節する中樞機關として産業組合中央金庫が大正十二年から政府の多額の出資と産業組合側の出資とに依り設立されて居ることも、本邦産業組合運動の發達の一端を語るものであると思はれます。

最後に産業組合及其の聯合會の普及、發達、聯絡を畫る中央機關である産業組合中央會は明治三十八年に設立され、全國の各道府縣に支會を、郡市に部會を持つて、盛な活動をして居ります。

かうして産業組合は全國に普及し、且地方的聯合機關、中央機關も整備したのです。では本邦の産業組合運動の將來は如何に進むべきでせうか。それは次に記します。

### 五、産業組合運動は將來何をなすべきか

優良な産業組合のある村なり、町に立ち寄つて御覽なさい。其の効果の著しいものがあるのを知るのでせう。見る影もなかつた貧村も、組合理事の數年、數十年に亘る絶えざる献身的努力と、組合員の精神的、物質的の團結に依り、村の産業は興り家々は富ますとも安かな生活をし、人々には質實、力行の風が溢れて居ります。日本の村と云ふ村、町と云ふ町、皆かうした状態になることは願はしいことです。

全國一萬五千の組合が活動し始めますれば、かうした状態になりますことは易々たることです。さうしますには現在の組合は種々改良する點があります。先づ組合員と理事が大いに決意して組合運動の發達に努めねばなりません。組合員は今日の世の中に生活して居ます以上、今日の世の中を風靡して居る資本主義的精神、營利主義、個人主義に流れ勝ちで、究極の目的を考へず、唯目前の利益に走り、兎角産業組合主義、共同主義を離れ

たがります。四百萬に近い組合員があらましても、多くの者は眠つた組合員です。盲目の組合員です。かうした事で産業組合が其の眞の効果を擧げ得ないのは當然です。今日の産業組合運動の努むべき重要なことは、この組合員を産業組合主義的に教育することです。四百萬の人々を更生させるのです。魂を入れかへさせて、眞に組合を利用させねばなりません。次に理事者ですが努力が足りない位なら未だいいのです。中には産業組合の経営方針を資本主義的にしてゐるものがあります。或は政黨に組合を利用しやうとするもの、私利を計らうとする者がありません。かうしたことは組合運動にとつて最も忌むべきことであります。將來の理事者は産業組合主義を體得し、飽まで立場を公正にし、経営の技術を練磨し、且組合員の爲に、献身的努力を惜まぬ様にせねばならぬと思ひます。かうした決心が組合員と理事者に出来れば組合の成績が直ちに擧り日本の都會と云はず、農村と云はず、皆平和な安樂な状態となりませう。

次に産業組合の將來にとつて大切なことは産業組合の民衆化と云ふことです。中産以下の人々の集りである産業組合に今更の様に民衆化を稱へることは不思議です。併し事實であるから仕方ないのです。産業組合は中産階級の獨占物であると云ふ批難を浴びせられて居ます。そして小作人や労働者の階級には何等關係のないものだと思ふのです。小作人や労働者の人々は今日の世の

中で最も困難な生活をして居ます。かうした人こそ第一に組合を利用すべきでせう。それなのにかうした批難があります。勿論優良な組合になりますと小作人を網羅して其の産業經濟の發達を計つてゐるものもあります。又労働者のみの消費組合があつて其の成績は優良なものもあります。併しそれは全體から見れば少ないと思ひます。産業組合が一番始め中産階級の人々に理解されて行つたことは容易に想像されます。今日民衆化が叫ばれるのは小作人や労働者の人達の自覺が足りなかつたのにも其の原因があります。併しそれは今日迄の問題です。近き將來は小作人や労働者の人々の方に産業組合の利用が普及して行つて、組合運動の責任を完全に果す様になりませう。組合關係者は此の點に一段の注意を拂はねばなりません。

又日本の産業組合運動は各種類の組合は均齊な發達を遂げて居ません。信用組合は普及しましたが、販賣組合とか購買組合とか利用組合とか云ふ事業組合が發達してゐません。殊に都會地の消費組合の發達が見られないのは目立ちます。購買組合や販賣組合の意義が前述の様なものであるとすれば、其の發達は實に興味深いものではないでせうか、此れが發達を見ないでは日本の組合運動は未だ完全とは云はれません。

最後にかうして單位の組合を充實されると共に、全國的、地方的聯合運動の完成に努めねばな

りません。今日出来てゐる聯合會は形だけは出来ましたが、其の内容たるや貧弱です。組合員間の共同主義精神を振興すると共に組合間の共同主義も完全に行はねばならないのです。更に産業組合の聯合運動は國內許りではないのです。一八九五年から已に各國の産業組合の聯絡を盡る國際産業組合聯盟が設立されて居て、我國の産業組合も之に参加して居ます。歐洲ではかうした友誼的連絡機關許りでなく、國際的共同購入の機關があり、更に國際産業組合中央金庫を設立しやうと努力して居ます。亦産業組合間の國際的取引もかなり進捗して居ます。實に産業組合運動は國際貿易の領域に迄入らうとして居ます。中小産以下の人々の力がかうした所に迄及ぼうとは誰れも想像しなかつたでせう。然もそれが白日の下の事實です。何によつて此れが得られたのでせう。「共同」の二字に凡てが言ひ盡されてゐるのです。かうした國際的事實に迄日本の組合運動も進む必要があります。要するに日本の産業組合運動には缺點があります。將來なすべきことが數知れずあるのです。かうしたことのある事は、組合員、理事者、指導者を刺戟して益々其の活動を促します。そして日々、月々、年々の組合運動の發達となつて現はれます。日本の組合運動が未だ未完成であることは組合運動の發達する餘地の十分あることを裏書して居ます。日本の産業組合運動は前途洋々たるものがあると云ふていゝと思ひます。

昭和二年十一月六日印刷  
昭和二年十一月十日發行

定價金八錢

發行所 産業組合中央會

編輯兼 發行者 東京市牛込區揚場町二十一番地 三 瀧 彦 太 郎

印刷者 東京市麹町區下六番町十七番地 松 澤 玨 三

印刷所 東京市麹町區下六番町十七番地 同 勞 舎

著 者 有 限 公 司

549  
200

中華民國二十一年一月十日發行  
中華民國二十一年一月十日發行

新刊 農業聯合中央會



總編輯 陶 敏 合  
發行所 廣東省城西關十六甫路十號  
電話 三  
印刷所 廣東省城西關十六甫路十號  
電話 三  
三 附 查 本 派  
廣東省城西關十六甫路二十號

定價 八分



